



ドローンで逃げ遅れを発見
古賀病院21と久留米消防署が合同訓練

11月11日、古賀病院21と久留米消防署は震度5の地震を想定した合同消防訓練を実施しました。消防訓練で初めてドローンを投入。高い所から現場全体を見渡すことで、救助を待っている人の発見や延焼の状況などが把握できます。訓練に参加した病院職員の木下郁音さんは「患者役として担架で運ばれました。暗くて何も見えず怖かったです。患者を助ける立場として、消火器の場所や逃げ道を知っておくことが重要だと再認識しました」と話しました。

避難者数や現場の状況を指揮本部に報告する職員の方々の様子

まちづくり尽力に感謝状
地域コミュニティ会長に感謝状



大久保勉市長から感謝状を受け取る荒木さん（左）

11月13日、17日に地域コミュニティ組織の会長を退任した38人に、市から感謝状が贈られました。自治会長を4年以上、校区コミュニティ組織の会長を2年以上務め、地域の課題解決や住みやすいまちづくりに尽力した皆さんです。

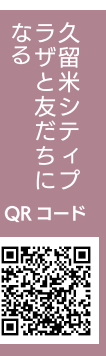
受賞者を代表して、西国分校区まちづくり委員会の会長を10年務めた荒木征洋さんは「自かたの地域を安全で安心なまちにしたいという一心でやってきました。これからも貢献していきたい」と謝辞を述べました。

市政の動き

公演情報をいち早く

11月19日から久留米シティプラザの公式LINEがスタートしました。プラザの公演や催し情報の中から、開催決定のお知らせや当日券の有無などをタイムリーに配信します。チケットの買い忘れや、当日時間が空いた時などに便利。事前に登録が必要です。LINEアプリをインストール後、QRコードや「久留米シティプラザ」で検索して友だち追加を。

久留米シティプラザ総務課
☎0942・36・30803
☎0942・36・30807



久留米シティプラザと友だちになる
QRコード



LINEから、ワンクリックでチケットの発売情報を見られるページへ

くるめ学生通信

大学生が、久留米市の仕事取材し、発信するシリーズです

55 市民の生涯学習をサポート 今回の記者：久留米工業大学（3年）三塩梨紗さん



生涯学習推進課のすぐ横にある情報コーナー。ボランティアなどの情報も掲載しています

「青年ボランティア」のチラシを見て興味を持っていました。生涯学習推進課が担当していると分かって、仕事内容を知りたいと思い、同課の塩足亮二さんに話を聞きました。

生涯学習推進課はどんな仕事をしているのですか。

市民の皆さんが「いつでもどこでも、誰でも」学習することができる環境づくりをしています。課の事務室はえーるピア久留米内にあり、学習の場や機会を提供するため、施設貸し出しや学習講座の開催、地域で行われるさまざまな活動に対する支援をしています。学生の皆さんに関わりがあるものだと、青年ボランティアや成人式に関する仕事ですね。

青年ボランティアの活動について教えてください。

子どもたち向けの体験活動を企画したり、運営したりする活動です。ボランティアの皆さんが研修の企画から運営の準備、子どもたちへの指導まで行ったため、大変なことも多いですが、

子どもの成長を間近で見ることができ、ボランティアスタッフ自身も大きく成長できます。例えば、沖縄県で現地の小学校と交流や、海洋研修をして団体生活とその楽しさを学ぶ「久留米市少年の翼」や、グループ活動から生きる力を育む「アドベンチャーキャンプ」といった事業の中でボランティア活動に関わってもらっています。

私たちは、各市民団体と一緒にボランティアスタッフの発掘・育成、研修会の開催、事業のPRなどを行っています。研修には課の職員もいきます。スタッフの事前研修も充実しているため、1人で参加する人や初めての人も、安心して参加できます。

成人式はどのように開催されるのですか。

久留米市は、市と校区コミュニティ組織との共催で成人式を行っています。市全体で1カ所



恩師のあいさつなど地域開催ならではの内容

の開催ではなく、地域ごとに開催している点が大きな特色。生まれ育った地域の皆さんや小・中学校時代の恩師からの祝福を間近で受けられます。とても温かみのある成人式が開催されているんですよ。生涯学習推進課は、開催場所や時間を取りまとめ、対象の人に案内を送付し、広報なども行います。1月10日（日）の成人式に向けて校区コミュニティ組織と一緒に準備を進めている最中です。

市民が学習する環境の整備から成人式まで幅広く市民に関わる仕事で、身近なところでサポートしてもらっていることが分かりました。

ボランティア活動を通して子どもも大人も成長することができるのと知り、ますます興味が高まりました。

広報戦略課 ☎0942・309119、FAX 0942・309702



幅広く市民活動に関わっていることを知りました

支え合いを英語で



「原文のニュアンスを大切にしました」と話すメンバーの皆さん（中央4人）

「くるめ支え合いプラン」わかりやすい版の英語版が完成しました。誰もが自分らしく安心して暮らせる地域共生社会を実現するために、大切なポイントが外国人にも伝わるように制作しています。英訳は、市職員の自主学習グループ「英語で伝える久留米」のメンバーが担当。市ホームページや市外国人相談窓口などに置いています。

地域福祉課 ☎0942・309175、FAX 0942・309752



市ホームページは「くるめ支え合いプラン」へ
詳細QRコード